



琴の音に、古代人の声を聴きました…



特別展「埋もれた楽器たち～古代への音浪漫～」(8月1日～9月2日)の関連イベント第1弾として第136回レクチャーコンサート「古代への道～琴と箏の時空トラベル～」が8月18日(土)に開催されました。

特別展では、弥生時代や古墳時代の遺跡から発掘された琴の実物やレプリカ、復元品のほか、銅鐸や鈴、琴を弾く男性人物埴輪などが展示され、日本の古代人の音や音楽、楽器について観る人に想像していただきましたが、このコンサートでは実際に音楽を演奏して、古代の音文化を体感していただきました。

演奏は遼安流家元で奈良在住の箏・三絃・地歌・古代琴奏者・古代音楽研究家の遼安さんと、その弟子である遼安緋由、遼安黄佑さん。

プログラムは現代から過去へと時空をさかのぼるタイムトラベル形式で進みました。まずは現代の箏曲「回想」。現代箏の機能をフルに発揮しての遼安さんの独奏で、ダイナミックな演奏を楽しみました。続いては江戸時代の名手吉沢検校による「千鳥の曲」。遼安緋由、遼安黄佑さんおふたりの合奏で、優雅な演奏の掛け合いを披露していただきました。平安時代では、博物館所蔵の「和琴(わごん)」を使い、神への奉納の役割の

音楽の姿が示されました。そしていよいよ古墳時代から弥生時代へ入ります。

この時代の楽器は、出土していても音楽そのものは消えてしまっていて跡形も残っていませんし、続く時代に伝承もされていませんから、実際に当時の音楽がどのようなものであったかを実証することはできません。私たち現代人のイマジネーションをフルに発揮して創作された遼安作詞作曲「華の宴-琴の序言」は、自然と生命の讃歌。コイタという木の棒で叩く板と、玄武岩を打ち合わせる打物(うちもの)も加わって、遼安さんの演奏と歌が流れました。

使用した古代琴は、島根県松江市旧八雲村の前田遺跡から出土した琴の復元品です。この古代琴は共鳴胴がついていて長さも160センチほどある大型のもので、古代琴の中ではかなり完成度の高いものです。

演奏の合間には、映像を見ながら琴と箏についてのお話があり、途中お客様の古代楽器体験タイムもあって、古代の琴文化を満喫した2時間でした。

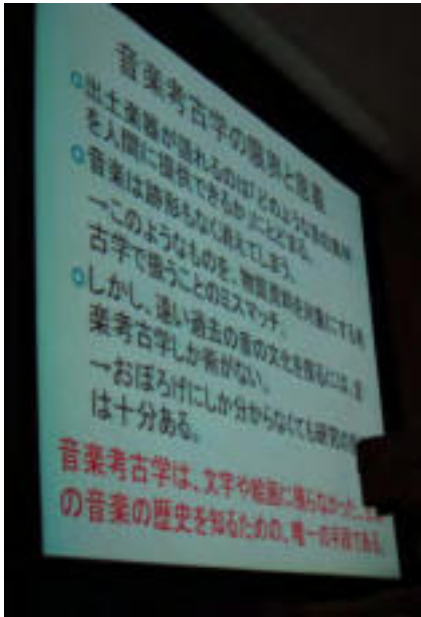
日 時：平成24年8月18日(土) 14:00～16:00

会 場：アクトシティ浜松音楽工房ホール

出 演：遼安 遼安緋由 遼安黄佑 遼安空智(衣装)

入場者：116人

古代への音浪漫～人は何を奏で、聴き、祈っていたのだろう…



我が国の出土楽器を基にした音楽文化の研究は、音楽考古学と呼ばれており、その研究会も東京で行われていますが、今回は第一線で活躍されている方々をお招きして、音楽考古学をめぐる現状と、特に琴についてのこれまでの発掘成果を一般向けに発表していただきました。

館長の嶋より、このフォーラムの目的は「考古学ファンは音楽に、音楽ファンは考古学に興味と関心を持っていただけのこと」という趣旨説明があり、横浜市埋蔵文化財センター研究員の山田光洋さんの進行のもとでフォーラムが始まりました。

まずは山田さんより、旧石器時代の音楽文化から始まる地球上の楽器のお話があり、土器、金属製の鈴、骨や石の笛、木製の琴など楽器や楽器と考えられている出土資料について世界的な視野から説明がありました。特に日本の銅鐸の盛衰についての神との関係のお話や、日本の古代の琴についての、中国の神仙



中川律子

思想の影響が大きいのではないかと指摘は興味深いものでした。

続いて静岡県埋蔵文化財センター研究員の 中川律子さんからは、琴についての詳細なお話がありました。有名な静岡市の登呂遺跡が日本の出土琴の第1号であることや、静岡県は日本の中で特に琴の出土が多いことについて説明がありました。

特別展「埋もれた楽器たち～古代への音浪漫～」(8月1日～9月2日)の関連イベント第2弾として、考古学の専門家による出土楽器をめぐるフォーラムが、8月19日(日)にアクトシティ音楽工房ホールで開かれ、103人の聴講者が音楽考古学の現状を学びました。

休憩のあと、前日のレクチャーコンサートで古代琴を演奏された遼安さんが特別に古代琴を演奏。様々な奏法も試されました。



遼安

4番目はお隣の磐田市の埋蔵文化財センター研究員竹内直文さんから、2002年に発掘された明ヶ島古墳出土の土製ミニチュアの解説。数千点にのぼるミニチュアには犬や猪、鏡や刀、男女の人形など古代人のすばらしい作品が見られますが、なかでも手のひらに乗るほどの琴のミニチュアは楽器として唯一登場するもので、古代人がいかに琴に愛着を持っていたかが伺われるものでした。



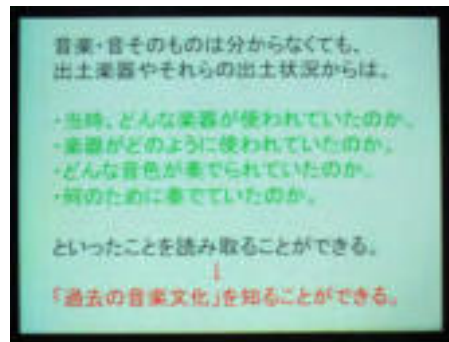
竹内直文

5番目は、浜松市文化財課研究員鈴木一有さんから昨年浜松市内の郷ヶ平古墳群で発掘された埴輪の紹介。県内初の完全形の大型の馬形埴輪に付いたたくさんの鈴と、琴を弾く男性人物像の一部と推定される我が国でも最大級の琴は、今回の特別展で初公開されていますが、近畿から関東への橋渡しの資料として貴重なものということでした。



鈴木一有

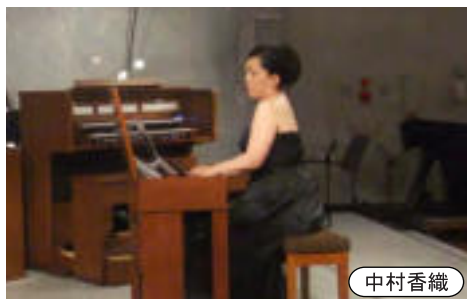
最後に山田さんから、奈良時代以降の楽器や音楽文化についてのお話がありました。日本においても地域ごとに様々な音楽文化があったことや、音が残っていない現実からは出土資料から研究する音楽考古学が、古代の音楽を知る唯一の方法であることが説明



され、フォーラムは幕を閉じました。日本における音楽文化を縄文弥生時代から考える刺激を与えてくれた有意義なフォーラムでした。

古代への音浪漫～人は何を奏で、聴き、祈っていたのだろう～
日 時：平成24年8月19日(日) 13:00～16:00
会 場：アクトシティ浜松音楽工房ホール
パネラー：山田光洋、中川律子、竹内直文、鈴木一有、遼安
ナビゲーター：嶋和彦 聴講者：103人

第3回 電子チェンバロとクラシックオルガンの集い〜楽器博物館ミュージアムサロン〜



中村香織



松田健志



荒井実千子、小田肇子



中野振一郎、公月愛子



鈴木泉



加茂栄一



ウィンズローグ



高杉美和子

8月25日(土)午後1時30分から4時30分まで、天空ホールにて「第3回電子チェンバロとクラシックオルガンの集い・楽器博物館ミュージアムサロンコンサート」を開催しました。この公演は公益財団法人ローランド芸術文化振興財団との共催で、昨年と一昨年に引き続き、今回で3回目です。過去2回は10月に開催したコンサートでしたが、今回は夏休みの最後の土曜ということもあり、全国からの大変多くのお客様にお楽しみいただくことができました。使用した楽器は浜松市に本社と工場がある電子楽器メーカーのローランド株式会社の電子チェンバロC-30とクラシックオルガンC-330です。もともと、同社の電子チェンバロC-30の開発の音源データのひとつに当館所蔵の1765年パリのブランシェ製チェンバロの音が使用されていることから、チェンバロ愛好家の市民参加コンサートを開催しようとはじまったこの企画でしたが、今年は、クラシックオルガン(電子オルガン)を新たに加え、電子鍵盤楽器の華やかなステージになりました。

出演は全国から多数応募者のなかから審査に合格された6組10人のアマチュア音楽家とゲストにプロの演奏家です。

コンサート第1部は電子チェンバロの演奏です。初めは、昨年に引き続き出演された浜松市の〈ウィンズローグ〉の皆さん。電子チェンバロに野島礼子さん、チェロは高木和さん、フルートは川向博史さんと佐藤友紀さんでした。バッハの「主よ、人の望みの喜びを」や

モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」などバロックや古典の馴染み深い曲で会場の雰囲気明るくなりました。

2番目は東京都目黒区の高杉美和子さん。クープランの「神秘のバリケード」や「葦」などフランスチェンバロの華やかな音楽を奏でました。続いて、京都市からソプラノ歌手の小田肇子さんと荒井実千子さんの伴奏でパーセル作曲の歌や「エーデルワイス」を。最後は東京都豊島区で内科の医師をされている中村香織さん。クープランの「クラヴサン組曲」やハイドンの「ソナタ」を演奏しました。

ゲストの演奏は、チェンバリストの中野振一郎さんと公月愛子さんでした。チェンバロが鍵盤楽器として最も華やかだった時代の連弾曲を2台の電子チェンバロを使い、演奏しました。

コンサート第2部はクラシックオルガンの登場です。浜松市の加茂栄一さんは自身のオルガンの勉強のきっかけになったというバッハの「オルガン小品集」から2曲を。松田健志さんは、自作曲ほかイタリアのオルガン曲を中心に演奏されました。荘厳な音の響きはまるで教会のパイプオルガンのようでした。

ゲスト演奏ではジャズオルガニストの鈴木泉さんがステージを盛り上げました。ジャクソン5の「ABC」はコーラスが本当に歌っているかのような幅広い音の種類に驚くお客様も多くいらっしゃいました。

レクチャーコンサート No. 135 「伝統のアフリカ～吟遊詩人グリオと弦楽器コラ～」



グリオとは西アフリカのマリやギニアなどを中心に活躍する、世襲制の職業的音楽家・口承伝承者・吟遊詩人のことをいいます。彼らは、その地域に伝わる歴史や物語を歌や語りを通して人々に伝えます。

今回の演奏者はギニア共和国出身で、グリオの家系に生まれ育ったエピゾ・バンゲーラ氏と、同じくギニア共和国出身のダンサー、ユスフ・クンバッサ氏です。コラ（ハープ）やバラフォン（木琴）、ジェンベ（片面太鼓）などグリオの伝統的な楽器を使用しました。特にバラフォンはエピゾさんの家系で得意とされている楽器です。木琴なのですが、ひょうたんで出来た共鳴体を持ち、蜘蛛の巣の膜を貼り付けます（今回はプラスチックで代用）。それによりビリビリとした音色が生まれます。これがアフリカの人々にとって大事な音色なのです。歌やダンスを交えながら「スンジャタ・ファサ」や「カイラ」、エピゾさんが作った曲などを演奏しました。演奏会の途中ではエピゾさんのコラとの出会いや、コラにまつわる楽しいお話もありました。楽器から出るさまざまな音色や全身を使った激しいダンスに、会場では手拍子が起きたり立見ができました。私たちの住む日本とは全く違った文化を知るととても良い機会となりました

日時：平成 24 年 8 月 7 日（火） 19:00 ～ 21:00

会場：楽器博物館天空ホール

出演：エピゾ・バンゲーラ ユスフ・クンバッサ

入場者：86 人

レクチャーコンサート No. 137 「北インド夢幻～サロードの音宇宙～」



サロードはシタールと並んで北インドを代表する弦楽器で、11 世紀以降インドへのイスラムの進出とともに伝わった中東起源の弦楽器が、インドで改良されていったものと考えられています。今回はインドからアビセック・ラヒリさんとパルタ・サラティ・マケルジーさん、そして、フランス在住の辻英明さんをお迎えして北インドの伝統音楽やインドと日本の音楽を組合わせた新しい音楽を紹介しました。演奏の前にラヒリさんがサロードについてお話されました。「楽器の胴の部分にはヤギの皮が張られて、指板は金属でできていて、ココナツの殻でつくったピック（爪）で弦をはじきます。」といった説明をお客さんは感嘆しながら聞いていました。

サロードの音色も素敵でしたが、やはりタブラ（太鼓）が演奏に加わるとさらにインドらしさが引き立ちます。さらにギターや三味線を加えた現代に生きる新しいジャンルの曲も紹介されました。プログラムの大半がオリジナルの曲で、アンコールには日本の「さくら」のメロディーを入れたものが演奏されました。

今年は日伊国交 60 周年記念の年でもあり、この時にふさわしく音楽でインドと日本の友好関係を結ぶコンサートとなりました。

日時：平成 24 年 8 月 24 日（金） 19:00 ～ 21:00

会場：楽器博物館天空ホール

出演：IONAH#trio（アビセック・ラヒリ（サロード）

パルタ・サラティ・マケルジー（タブラ）辻 英明（ギター、三味線）

入場者：44 人

レクチャーコンサート No. 138 「ベートーヴェン、チェロソナタⅡ」



7月16日の演奏会に続き、ベートーヴェン作曲のチェロとピアノのための全作品を演奏するという企画の第2回目が行われました。

今回は初期の頃の作品を演奏しましたが、今回のプログラムは中期～後期の作品。1801年頃に書かれたモーツァルトのオペラ《魔笛》から〈恋を知る殿方には〉による変奏曲と、1807年～1808年に書かれた第3番のチェロソナタ、1815年に書かれた第4番と第5番のチェロソナタの計4曲です。使用したピアノは前回と同様、楽器博物館所蔵の1810年に製作されたウィーンの名工A.ワルター&サンズのフォルテピアノ。ワルター製作のフォルテピアノは、ベートーヴェンが愛奏したことでその名が知られています。演奏会の途中で、フォルテピアノ奏者の小倉貴久子さんが「3つのペダルを用いて、今のピアノでは出すことのできない豊かなニュアンスを出ることができる」とワルターのピアノの魅力を語られていました。チェロを演奏してくださったのはチェロ奏者の花崎薫さん。チェロの力強くも美しい音色と、当時のフォルテピアノの幻想的で豊かな音色が見事に調和し、観客をベートーヴェンが生きていた時代の音楽の世界へと導きました。

日時：平成24年8月30日（木） 19:00～21:00

会場：楽器博物館天空ホール

出演：花崎薫（チェロ）、小倉貴久子（フォルテピアノ）

入場者：94人

イヴニングサロンコンサート「夏の夜の幻影～ジャワ王宮舞踊と古典詩への招待～」

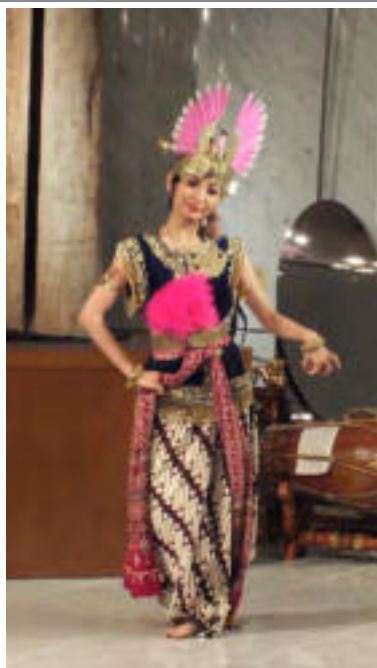
インドネシアは日本からずっと南へ下ったところにあるたくさんの島々からなる国です。赤道直下であり、一年を通して暑いところです。今回の演奏会では、インドネシアのジャワの王宮に伝わり発展してきた音楽を紹介しました。出演は、西岡美緒さん、佐々木宏実さん、ローフィット・イブラヒムさんです。楽器は博物館所蔵のガムランを使用しました。ガムランは青銅でできた打楽器を中心に弦楽器や歌と一緒に演奏します。大規模なものは30種類程の楽器を使って大人数で演奏しますが、今回は数種類の楽器と共に歌や踊りを楽しみました。まずは「ジャワ古典詩 モチョパット」でジャワ語の美しい響きを楽しみました。続いて、お祭りや結婚式など賑やかな所で演奏される「シノム・パリジョット」や、ジャワでもポピュラーな曲「スウォロ・スリン」などを演奏しました。最後はジャワ王宮舞踊。きらびやかな衣装を身にまとったダンサーが登場しました。ダンサーの手先の動きは美しいものでした。演奏の途中には楽しいお話もあり、ゆったりと時間が流れた夏の夜のひとときとなりました。

日時：平成24年8月17日（金） 19:00～20:00

会場：楽器博物館天空ホール

出演：西岡美緒 佐々木宏実 ローフィット・イブラヒム

入場者：53人



イヴニングサロンコンサート「弦楽八重奏」



今回のイヴニングサロンはアンサンブルムジーク弦楽合奏団の出演です。この合奏団は、浜松を中心に活躍するグループです。ヴァイオリンはゲッツ・ハルトマンさん、小沢規子さん、山村妙子さん、小澤諒子さん、ヴィオラはローズマリー・ケラーさん、水野和子さん、チェロは櫻井健さん、生駒宗明さんが来てくださいました。地元で活躍する演奏者が、楽器博物館で演奏をしてくださるというのはとても嬉しいことです。演奏曲は D. ショスタコーヴィチ（1906-1975）の「弦楽八重奏のための 2つの小品」と、F. メンデルスゾーン（1809-1847）の「弦楽八重奏 変ホ長調」です。D. ショスタコーヴィチの音楽には不安定な和音やぶつかり合うような

部分が曲の所々にみられます。ヴァイオリンやヴィオラが激しく音を鳴らしてチェロがそれを支えながら切迫していくような雰囲気がありました。続いて F. メンデルスゾーンの弦楽八重奏。この曲により弦楽八重奏の世界が確立した、といわれています。曲の冒頭は穏やかな雰囲気が始まり次第に八重奏ならではの音の厚みが増してきました。情熱的なクライマックスで曲が終わると、聴衆からは惜しめない拍手が送られました。

日時：平成 24 年 8 月 27 日（月） 19:00 ～ 20:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：アンサンブルムジーク弦楽合奏団
入場者：69 人

バンジョーからウィングラスまで～ミニコンサート華やかに!!～

たくさんのお客様で賑わう夏休みに合わせて、展示室では連日ミニコンサートを開催しました。

8 月 5 日（日）は浜松市内を中心に活躍している浜松サクソフロンクラブの皆さんでサクソフロンだけの大アンサンブルを楽しみました。10 日（金）はヨーロッパ・アルプス地方の弦楽器「チター」で、打越島三さんがゆったりとした楽曲を演奏しました。3 メートル以上もの長い楽器「アルプホルン」も登場し体験の時間に多くのお客様が吹かれていました。11 日（土）は、5 月に横浜で開催されたバンジョープレイヤーコンテストの優勝者、小寺拓実さんが登場。ギター、ヴァイオリン、コントラバスのハニークッキーズの皆さんと一緒にブルークラスを演奏しました。



バンジョー



サクソアンサンブル



チター



グラスハーブ



縄文と弥生の笛



フルートアンサンブル



ブルーグラスバンド



ヴァイオリン



デュオピアノ



アングルン



アイリッシュハーブ



セルパン



アルパ&ギター



ジャワ王宮舞踊

12日(日)は南米のハーブ「アルパ」とギターで、長島忠之さんとパブロ・テロネスさんによる異国情緒たっぷりの演奏に酔いしれました。13日(月)はくねくねと曲がった形のラッパ「セルパン」を橋本晋哉さん、ピアノを矢野薫さんが演奏。珍しい楽器にお客さんは興味津々の様子でした。14日(火)は寺本圭祐さんによる「アイリッシュハーブ」で、弦楽器の美しい音色に耳を傾けました。16日(木)はブルーグラスバンドで、演奏は浜松市内を中心に長年活動をする「カントリーフロンティア」の皆さん。どこか懐かしい雰囲気のある楽曲を楽しみました。17日(金)は特別展「埋もれた楽器たち」に関連した「縄文と弥生の笛」です。演奏者の縄文笛穀さんは自ら土笛の製作を行い、これまでに能楽堂や古墳、遺跡などでの演奏活動を700回以上行っています。縄文や弥生時代の音楽を身近に感じるひと時でした。

また、ゲストだけではなく、当館職員も登場。1日(水)はヴァイオリンをテーマに小山暁子ほか

3人が演奏。リコーダー、ピアノ、ドラムも演奏に加わった「カントリーロード」ではお客様が合唱し、会場が一体となりました。2日(木)と8日(水)は永井千晶と岡部美喜で「デュオピアノ」を演奏しました。演奏楽器はフランスのプレイエル社が1925年に製作した当館所蔵のもので、2台のピアノが1台に合体している貴重なピアノです。20日(月)はインドネシアの竹で出来た「アングルン」を鈴木千晶ほか2人で紹介。体験の時間では会場の皆さんで「きらきら星」を合奏し楽しみました。28日(火)は近藤晴香ほか2人で、水を入れたワイングラスのふちをこする「グラスハーブ」を紹介。夏にぴったりの涼しい音色に聞き入りました。29(水)は松尾圭子とミックスフルーツの皆さんでフルート四重奏を披露しました。お子様もおなじみのアニメソングからクラシック曲まで、家族連れのお客様も全員で喜んで聴かれました。

- 8/1(水)「ヴァイオリン」(天空ホール)
出演:当館職員(小山暁子、鈴木千晶、近藤晴香、嶋和彦) 入場者:71人
- 8/2(木)「デュオピアノ」(地下展示室)
出演:当館職員(岡部美喜、永井千晶) 入場者:106人
- 8/5(日)「サクソフォンアンサンブル」(天空ホール)
出演:浜松サクソフォンクラブ 入場者:227人
- 8/8(水)「デュオピアノ」(地下展示室)
出演:当館職員(永井千晶、岡部美喜) 入場者:83人
- 8/10(金)「チター」(天空ホール)
出演:打越島三、当館職員(近藤晴香) 入場者:106人
- 8/11(土)「バンジョー」(天空ホール)
出演:小寺拓実、ハニークッキーズ 入場者:201人
- 8/12(日)「アルパ&ギター」(天空ホール)
出演:長島忠之、パブロ・テロネス 入場者:222人
- 8/13(月)「セルパン」(天空ホール)
出演:橋本晋哉、小野寺薫 入場者:252人

- 8/14(火)「アイリッシュハーブ」(天空ホール)
出演:寺本圭祐 入場者:234人
- 8/16(木)「ブルーグラスバンド」(天空ホール)
出演:カントリーフロンティア 入場者:182人
- 8/17(金)「ジャワ王宮舞踊」13:20、14:50(天空ホール)
出演:西岡美緒、佐々木宏実、ローフィット・イブラヒム 入場者:210人
- 8/17(金)「縄文と弥生の笛」(天空ホール)
出演:縄文笛穀 入場者:141人
- 8/20(月)「アングルン」(天空ホール)
出演:当館職員(鈴木千晶、小山暁子、近藤晴香) 入場者:95人
- 8/28(火)「グラスハーブ」(天空ホール)
出演:当館職員(近藤晴香、小山暁子、鈴木千晶) 入場者:83人
- 8/29(水)「フルートアンサンブル」(天空ホール)
出演:ミックスフルーツ、当館職員(松尾圭子) 入場者:43人
時間:一部を除き14:00、15:30 いずれも各30分程度



日 時:平成 24 年 8 月 9 日 (木) 11:00、14:00 (各 1 時間)
会 場:楽器博物館展示室 参加者:18 人

「キッズまちなか探検隊」は浜松まちなかにぎわい協議会が企画した子供のための文化イベントです。博物館会場では「楽器作り体験」を開催しました。身近な材料のボール紙とストローを使って、かわいい鳥笛を作りました。鳥笛というのは鳥の鳴き声のまねをする笛です。竹や金属でできた鳥笛が有名ですが、今回はボール紙製。子どもたちは最初、緊張していた様子でしたが、作業が進むにつれ笑顔が増えました。一生懸命に取り組む様子に保護者も熱い視線を送ります。作業の中では、鳥に色をつける作業が特に楽しかったようです。子どもたちは思い思いの個性あふれる鳥を完成することが出来ました。最後は「カッコウ、カッコウ!」とみんなで鳥の鳴き真似をして楽しく写真を撮りました。

これからの催し物

ホームページでは最新のイベント情報を紹介しています。ぜひご覧ください。

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや 19 世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート「ハワイから世界へ〜ウ・ク・レ・レ〜」
10/24(水) 19:00 天空ホール 出演:新納悠記、鈴木智貴
- イブニングサロン
「君偲ぶ夜〜アルパの想い〜」
9/8(土) 18:30 天空ホール 出演:岩佐しおり
「ミュージアム・ジャズナイト」
10/20(土) 18:30 天空ホール 出演:美淋つゆ子、恒川久徳
- 講座「楽器の中の聖と俗」(全 3 回)
10/15(月)第 54 回「ブータン 舞い狂う霊獣の祭り」
10/22(月)第 55 回「インド 愛を語る吟遊詩人バウル」
11/12(月)第 56 回「ヴェトナム 愉快、爽快、街角の竹音楽」
講師:西岡信雄 いずれも 18:30 ~ 20:00 楽器博物館展示室
- 楽器体験ワークショップ
「南米のハーブアルパをひこう!」
9/9(日) 10:00 ~ 12:00 講師:岩佐しおり
アクトシティ研修交流センター
- ミュージアムサロン 14:00&15:30 (天空ホール)
9/16(日)「オカリナ」(13:15、14:45) 出演:えんじろう
9/16(日)「金管アンサンブル」 出演:浜松プラスアンサンブル
9/22(土)「金管アンサンブル」 出演:東郷源と仲間たち
9/30(日)「アイリッシュフルート」 出演:hatao
- 静岡文化芸術大学の室内楽演奏会 2012 キーボードと出会う
コンサートとフォーラム「パンパン!ケンパン!はままつ」
10/20(土)、21(日)

博物館日誌

- 8/1(水) ~ 9/2(日)
特別展「埋もれた楽器たち〜古代への音浪漫〜」
入場者:16,129 人
- 8/1(水) ミュージアムサロン「ヴァイオリン」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:当館職員 入場者:71 人
- 8/2(木) ミュージアムサロン「デュオピアノ」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:当館職員 入場者:106 人
- 8/5(日) ミュージアムサロン「サクソフォンアンサンブル」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:浜松サクソフォンクラブ 入場者:227 人
- 8/6(月) 浜松市郷土考古墳出土土輪説明会
19:00 ~ 20:30 (特別展示室)
説明:鈴木一有(浜松市文化財課) 受講者:33 人
- 8/6(月) ~ 8/19(日) インターンシップ実習 実習生:5 人
- 8/7(火) レクチャーコンサート
「伝統のアフリカ〜吟遊詩人グリオと弦楽器コラ〜」
19:00 (天空ホール)
出演:エビゾ・バンゲラ、ユスフ・クンバッサ 入場者:86 人
- 8/8(水) ミュージアムサロン「デュオピアノ」
14:00、15:30 (地下展示室)
出演:当館職員 入場者:83 人
- 8/8(水) 教職員研修 竜禅寺小学校 1 人
- 8/9(木) キッズまちなか探検隊 2012 「鳥笛を作ろう」
11:00、14:00 参加者:18 人
- 8/10(金) ミュージアムサロン「ギター」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:打越島三、当館職員 入場者:106 人
- 8/11(土) ミュージアムサロン「パンジョー」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:小寺拓実、ハニークッキーズ 入場者:201 人
- 8/12(日) ミュージアムサロン「アルパ&ギター」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:長島忠之、パブロ・テロネス 入場者:222 人
- 8/13(月) ミュージアムサロン「セルバン」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:橋本晋哉、小野寺薫 入場者:252 人
- 8/14(火) ミュージアムサロン「アイリッシュハーブ」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:寺本圭佑 入場者:234 人
- 8/16(木) ミュージアムサロン「ブルーグラスバンド」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:カントリーフロンティア 入場者:182 人
- 8/17(金) ミュージアムサロン「ジャワ王宮舞踊」
13:20、14:50 (天空ホール)
出演:西岡美緒、佐々木宏実、ローフィット・イブラヒム 入場者:210 人
- 8/17(金) ミュージアムサロン「縄文と弥生の笛」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:縄文笛毅 入場者:141 人
- 8/17(金) イブニングサロン「夏の夜の幻影〜ジャワ王宮舞踊と古典詩への招待〜」 19:00 (天空ホール)
出演:西岡美緒、佐々木宏実、ローフィット・イブラヒム 入場者:53 人
- 8/18(土) レクチャーコンサート「古代への道〜琴と箏の時空トラベル〜」
14:00 (音楽工房ホール)
出演:遼安、遼安絳由、遼安黄佑、遼安空智 入場者:116 人
- 8/19(日) 特別展フォーラム「古代への音浪漫〜人は何を奏で、聴き、祈っていたのだろうか〜」
13:00 ~ 16:00 (音楽工房ホール)
パネラー:山田光洋、中川律子、竹内直文、鈴木一有、遼安
ナビゲーター:嶋和彦 入場者:103 人
- 8/20(月) ミュージアムサロン「アंकルン」
14:00、15:30 (天空ホール) 出演:当館職員 入場者:95 人
- 8/21(火) 県民の日無料入館日 入館者:794 人
- 8/22(水) ~ 29(水) 学芸員実習 実習生:2 人
- 8/24(金) レクチャーコンサート「北インド夢幻・サロードの音宇宙」
19:00 (天空ホール)
出演:アビセック・ラヒリ、パルタ・サラティ・マルケジー
辻英明 入場者:44 人
- 8/25(土) ミュージアムサロン
「第 3 回 電子チェンバロとクラシックオルガンの集い」
13:30 ~ 16:30 出演:6 組 10 人
ゲスト:中野振一郎(チェンバロ)、公月愛子(電子チェンバロ)、鈴木泉(オルガン) 入場者:480 人
- 8/27(月) イブニングサロン「弦楽八重奏」
19:00 (天空ホール)
出演:アンサンブルムジーク弦楽合奏団 入場者:69 人
- 8/28(火) ミュージアムサロン「グラスハーブ」
14:00、15:30 (天空ホール) 出演:当館職員 入場者:83 人
- 8/28(火) はましん地域振興財団「はままつ文化施設めぐり」
「鳥笛を作ろう」 9:30、10:00 参加者:13 人
- 8/29(水) ミュージアムサロン「フルートアンサンブル」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演:ミックスフルーツ、当館職員 入場者:43 人
- 8/30(木) レクチャーコンサート
「ベートーヴェン・チェロソナタ(全曲)パートII」
19:00 (天空ホール)
出演:花崎薫、小倉貴久子 入場者:94 人

浜松市楽器博物館だより

平成 24 年 9 月 5 日発行 No. 72 編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1

TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129

E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp URL <http://www.gakkihaku.jp/>